

■竿掛 長さのバリエーション適応表 ※商品によっては、下記表の竿の長さに対応するアイテムがないものもあります。

商品名	竿 掛		長さのバリエーション	竿 の 長 さ																											
				5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	24	25	27	28	30					
普天元 獅子吼	小仕舞 二本物	#1= 820mm	#1+#2+#3= 1,590mm																												
		#2= 510mm	#1+#2= 1,325mm																												
		#3= 270mm	#1+#3= 1,085mm																												
		#1= 820mm		▲	▲																										
	二本物		#1+#2+#3= 2,315mm																												
			#1+#2= 1,920mm																												
		#1= 1,185mm	#1+#3= 1,580mm																												
		#2= 740mm	#1= 1,185mm																												
		#3= 400mm	#1+#2+#2= 2,655mm																						▲	▲	▲				
			#1+#2+#2+#3= 3,050mm																							▲	▲				
朱紋峰	小仕舞 二本物	#1= 820mm	#1+#2+#3= 1,590mm																												
		#2= 510mm	#1+#2= 1,325mm																												
		#3= 270mm	#1+#3= 1,085mm																												
		#1= 820mm		▲	▲																										
	二本物		#1+#2+#3= 2,325mm																												
		#1= 1,195mm	#1+#2= 1,955mm																												
		#2= 765mm	#1+#3= 1,565mm																												
		#3= 375mm	#1= 1,195mm																												
	二本 半物		#1+#2+#3+#4= 3,085mm																												
		#1= 1,195mm	#1+#2+#3= 2,715mm																												
		#2= 765mm	#1+#2+#4= 2,325mm																												
		#3= 765mm	#1+#2(#3)= 1,955mm																												
		#4= 375mm	#1+#4= 1,565mm																												
		#1= 1,195mm																													

※普天元 獅子吼/朱紋峰は印籠継ぎ合わせ部の重なり1カ所に付きマイナス5mmとして計算しています。

※▲部分は、アフターパーツでご購入いただくと可能となる組み合わせですが、パーツの個体差によりコミが合わないことがございますので、修理ご依頼としてお近くの釣具店にお預けください。またパーツ調整工賃が別途掛かりますので、あらかじめご了承くださいませようお願いいたします。

※普天元 獅子吼 竿掛 二本物の場合、アフターパーツ購入による追い継ぎは柔らかめの調子になっているため、万力との組み合わせによっては竿を竿掛の真上で受けようとした際、竿が竿掛に当たり、受けられない場合があります。竿掛の真上ではなく横で受ける場合は問題ありません。

※刀春は印籠継ぎの隙間は計算していません。

◎印籠継ぎの取り扱いについて

竿掛、玉ノ柄の合わせ方式(継ぎ方)に印籠継ぎを採用している製品があります。これは、継ぎ部に3～8mmの隙間ができるように設計されています。季節や環境の変化による合わせ部(込み部)の膨張、収縮に対応するためです。もちろん、強度は十分ですから使用上に問題はありません。隙間を気にして、無理に差し込むと口割れや抜けなくなるといったトラブルを招きますので、必要以上に差し込まず加減してください。シマノの竿掛、玉ノ柄は印籠継ぎです。この竿掛は、小節の風合いを表現するため、急テーパのために仕上げています。